

第7回弁理士制度小委員会における指摘事項等

資料1

報告書における項目	第7回における指摘事項等(括弧内は指摘等した委員名)
弁理士の社会的使命の明確化	・調査・審査組織への産業界委員の登用の検討(長澤委員) ・悪質事案の早期公表の検討(市毛委員) ・苦情事例集第7版の発行(北村委員)
日本弁理士会に対する監督権限の緩和	・会員処分事例集第2版の配布、啓発(北村委員) ・料金と手続の事前説明の徹底・チェック機能強化(櫻井委員) ・明細書作成等の作業負担と手数料(報酬)の関係の検討・分析(古谷委員)
大規模特許事務所の在り方 (利益相反規定等について)	・「弁理士倫理ガイドライン」等を用いた「倫理集合研修」の全弁理士の受講(北村委員) ・「倫理集合研修」の充実、継続受講(北村委員) ・現在の研修枠組みで不足がないかの検討(古谷委員) ・弁理士会による会員事務所監査実施の検討(長澤委員)
秘匿特権に関する取組の推進	・秘匿特権に関する業務ガイドラインの策定(北村委員)
非弁理士による弁理士活動の取締りの実効性確保	—
弁理士の相談業務	・独立した「コンサルティング業務」に向けた取組(飯田委員) ・求められるコンサルティング能力の研究とその成果の会内周知(北村委員) ・コンサル業務における技術やビジネスの理解向上のための産業界との意見交換(長澤委員) ・弁理士知財キャラバンの立ち上げ(北村委員) ・中小企業診断士協会との覚書締結の全国拡大(北村委員)
小規模特許事務所の在り方 (一人法人制度等について)	・事業継承セミナーのeラーニングでの配信(北村委員)
弁理士に対するアクセスの改善	・知財無料相談、講師派遣、支援協定締結、助成金制度情報提供の継続(北村委員) ・「知財総合支援窓口」に配置する弁理士の質を高めるための研修の実施(北村委員) ・「出願等援助制度」の予算増額(北村委員) ・知財認識度チェックシートひな形作成の検討(櫻井委員) ・不得意分野と外国語能力に関する弁理士ナビ掲載の検討(櫻井委員) ・代理実績のある出願の技術分野に関する弁理士ナビ掲載の検討(飯田委員)
弁理士試験の充実	—
実践的な研修を含めた研修の多様化	・オープン・クローズ戦略の指導(櫻井委員) ・コンサルティング能力を向上するための研修検討(飯田委員) ・企業内弁理士の資質向上(高倉委員)